

兵庫県保険医協会神戸支部第32回総会のご案内

<記念講演>

# 日常診療における認知症薬物療法の 新たな選択肢～メマンチンへの期待～

日時 10月15日(土) 14:00～16:00

会場 兵庫県保険医協会会議室  
(JR・阪神元町駅南へ徒歩7分 兵庫県農業会館西隣)

講師 中村 祐 先生(香川大学医学部精神神経医学講座教授)  
共催 第一三共株式会社

認知症は誰でも罹りうる疾患であり、また、その発症に最も深く関連しているのは、「加齢」である。我が国の高齢化は急速に進行しており、それに伴い、認知症患者は急増している。また、一般の高齢者でアンケートをとったところ、「癌」よりも「認知症」の方が罹りたくないと思われた方が多く、高齢者の中では、最も恐れられている疾患となっているようである。その原因として、治療法がほとんどないことが上げられると考えられる。

今春、複数の抗認知症薬が上市し、その中でもメマンチン(メモリー®)はドネペジルなどのコリンエステラーゼ阻害剤とは異なるメカニズムをもつ薬剤であり、認知症の治療の枠組みを大きく変えることが期待されている。【中村記】

**講師プロフィール** 1991年大阪大学大学院医学系研究科修了。同大学院講師、奈良県立医科大学助教授を経て、2005年から現職。医学博士。臨床心理士。老年精神医学会指導医。日本精神神経学会指導医。1996年第2回日生医学賞受賞。

※お問い合わせは、Tel (078) 393-1801(代) 横山・沖野まで

10/15(土)神戸支部第32回総会 FAX(078)393-1802 へご返信下さい

- ・総会(14:00～) 参加 不参加(議事の一切を議長に委任します)
- ・記念講演(14:30～) 参加
- ・会員懇親会(16:30～) 参加 ※参加費無料(会場:ニューミュンヘン神戸元町店)

( )区 医療機関名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

兵庫県保険医協会

243号 2011年9月25日

## 神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

### 須磨区社保協総会

## 被災地支援の取り組みを交流

神戸支部が加盟する須磨区社会保障推進協議会は、7月24日に北須磨文化センターで第8回総会を開催し、地域の8団体から17人が参加した。役員選出では代表幹事に加藤擁一協会副理事長が再選された。

加藤先生から東日本大震災被災地支援の活動報告と歯科医療支援について、神戸医療生活協同組合看護師の西川朋子氏から避難所での医療支援について報告がされた。加藤先生は、「震災関連死につながる誤嚥性肺炎の予防に口腔ケアが重要。今後も現地支援を続けていきたい」



加藤先生が被災地支援の報告を行った

と発言した。参加者からは、「公的支援の拡充を求める運動が必要」「医療機関の再建は地域住民にとって重要」などの意見が出された。

## 神戸支部第32回総会にぜひご参加ください

日時 10月15日(土) 14:00～

会場 兵庫県保険医協会会議室

※詳細は4ページの案内をご覧ください。

## かざみどり通信



神戸支部ニュースでは、会員どうしの交流を深めるため役員・会員投稿シリーズ「かざみどり通信」を始めました。テーマは自由です。ぜひご投稿ください。今回は、神戸支部幹事の近重民雄先生(須磨区)です。



# 私の音楽趣味その1

小学校高学年からリアルタイムでビートルズに接してきましたので、その後も洋楽のP O P sやフォークソング中心に聞いておりました。クラシックは音楽の授業でも退屈なものでした。

しかし、振り返ってみると、小学校の授業が終わって掃除をするときには毎日ドヴォルザークのユーモレスクがかかっていたし、TVドラマのテーマ音楽でウィリアムテル序曲に親しんでいました。クラシックをまったく受け付けないということではありませんでした。

本格的にクラシックを聴きだしたのは大学生時代で(同時にジャズも好きになりましたが)、同級生の石川君(現神戸協同病院)の影響が強く、石川君がFM放送からAKAIのオープンデッキにエアチェックしたものを聴かせてもらっていました(貧乏学生でレコードを買うことができませんでした)。

また解剖学第二(成績は非常に悪かった)の溝口教授のお宅で、バロック音楽を聴かせていただいたり、先生のおついでで加納町4丁目の教会で生のオルガン演奏の迫力を体験させていただいた

りで、徐々にクラシック音楽にはまっていきました。

医学部最終学年(6年生)になって、神戸フロイデ合唱団というベートーベンの第九のための合唱団の募集があることを知り応募しました。7月から約半年間JR六甲道駅近くのビルの一室で練習があり、合唱指導が亀井正比古さん、団長が椿野大さんでした。メンバーはいろいろな職業の方々に、学生の自分としてはとても興味深い話が聞け楽しかったのを覚えています。自分のパートはもちろんバスですが、バスなりにかなり高い音が要求される箇所があり、相当苦労しました。練習ではどうしても出なくて声がひっくりかえります。



コンサートを開催した神戸文化ホール



筆者は超満員の神戸文化大ホールでベートーベン交響曲第9番を合唱した

12月21日、本番を迎え、生まれて初めて神戸文化ホール大ホールの舞台に立ちました。外山雄三さん指揮、大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏。ソリストにソプラノ大川隆子さん、アルト成田絵智子さん、テノール丹羽勝海さん、バス勝部太さんです。コンサート会場は超満員でした。

団員は、第1第2楽章は座っていましたが、第3楽章から立って待つことになり徐々に緊張感が高まってきました。第3楽章は天国的に美しいメロディーで、ふだん聴いているととてもリラックスできるのですが、実際には嵐の前の静けさで緊張がゆるむことはありません。

第4楽章で緊張と興奮が最高潮になったとき、とうとう出番がやってきました。

不思議なことにあれほど苦労した高音がきれいに出了のです。

本番で最高のパフォーマンスができました。感動で胸がいっぱいになりました。実際に舞台に立ってはいじめて経験する感動でした。終了後、楽屋で成田さんに握手とサインをしていただきました。

同級生には国家試験も卒業試験もあるのと言われていましたが、その時代に合唱団に参加できたことは本当によかったと今でも思っています。

## 投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療に関わることや、主張などお寄せください。

◇ e-mail [tamura@doc-net.or.jp](mailto:tamura@doc-net.or.jp) 担当: 田村まで  
◇ TEL 078 - 393 - 1817 ◇ 078 - 393 - 1802

